

福住寺報 なむ

お盆
—特別号—

—発行—
浄土真宗本願寺派
光明山 福住寺
—発行責任者—
住職 長尾 光洋



初春の令月にして
気淑く風和ぎ
梅は鏡前の粉を披き
蘭は珮後の香を薫す
(万葉集)

ニセコ第2有島ダチョウ牧場

「平成」から「令和」へ

平成31年4月1日、内閣官房長官から「平成」に変わる新しい元号を「令和」と発表され、5月1日から施行となりました。新元号は、西暦645年の「大化」から数えて248番目。天皇陛下の退位によって元号が変わることは、憲政史上はじめてのことです。

万葉集の歌を出典とした元号制定を受け、このお歌の意味は「時はあたかも新春のよき月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装うのごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている」と続いています。

内閣総理大臣は「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、令和に決定致しました」と言われました。

お念仏のみ教えは光となって、迷いの中にある私を照らし出します。そのはたらきに気づかされる人生は生まれた意味と生きる方向が明らかとなり、いのちを精一杯に輝かせる人生へと変えられていくのです。地震や豪雨での災害、無差別殺人、虐待などの凶悪事件、人間の欲望の増大によって様々な事柄が毎日のように起こっています。私の上にどのような問題が起ころうとも、仏さまがいてくれる安心をいただき、互いに違いを認め合い、許し合い、争うことの少ない時代になるよう願っています。

令和元年
5月13日

福住寺役員総会

令和元年5月13日、「令和元年度福住寺役員総会」が開催されました。

本堂で讃仏偈をお勤めした後、新地区総代の委嘱状授与、集合写真撮影の後、会堂において総会が開催されました。

國田裕司総代の議長のもと、平成30年度事業報告、決算報告、松本吉正・林 義隆両総代の監査報告がありました。また、令和元年度事業計画と予算案が審議され、原案通り承認されました。

住職は胆振地震被害等、災害に対してのお見舞いを述べられました。福住寺でも被害があり、対策することにあたり講習会で研修を深めた事を報告されました。また、会堂のLED電気工事・内装工事が終え、利用しやすい会堂に改装され大いに利用されることを期待する旨を述べられました。さらに、長谷川壮年会副会長が投稿した「花まつり長い太巻きづくり」の記事が本願寺新報に掲載されたことや、昨年6月に福住寺仏教婦人会が「恵信尼公750回忌・婦人会90周年記念法要」の大法要を盛会に行われたことを報告されました。

最後に、親鸞聖人生誕850年・立教開宗800年を令和5（2023）年に執行される旨のご消息が披露されました。寺院の役割失われつつある儀式や文化の存続、念仏繁盛の為に更なる皆様のご尽力をお願いしますと挨拶されました。

彦素総代長は、お念仏のつながりを大切にして、ご縁作りの基盤になるようにご協力をお願いされました。総会後は、和気藹々と懇親を深めました。



林義隆監事



彦素幸夫総代長の挨拶



議長 國田裕司総代



長谷川文一新地区総代



台風・地震の被害



本堂の箱棟破損（台風）



納骨堂（地震）

ブロック塀補修・内装

平成30年6月18日の大阪北部地震では、高槻市の小学校でブロック塀が倒れて児童が犠牲となりました。福住寺でも境内北側にブロック塀があり鉄筋が入っていますが、大きな災害に備えて、ブロック塀補修をいたしました。

また、昨年会堂の内装工事を終え、会堂エントランスに皆さんでゆっくりくつろいでいただけるようにいたしました。小さなお子さんのスペースとしてキッズコーナーを設置いたしました。



ブロック塀補修



会堂エントランス



キッズコーナー

福住寺 新会場使用懇志について(ご法事の場合)

◆ご法事の法要時間は約40分です。どの部屋でも椅子席でお参りです。

福住寺でご法要(法事お勤め)の場合

お勤め会場	本堂の場合	使用懇志 5,000円
お勤め会場	会堂2F慈光間の場合	使用懇志 3,000円

おとし(会食) 法要のお勤め後、会食を利用する場合は以下の会場費が加算されます。

場 所	人 数	会 場 費
会堂1F全館	~100名	+25,000円
会堂広間1	~40名程度	+15,000円
会堂広間2	~30名程度	+13,000円
庫裡会議室	~20名程度	+10,000円
会堂2F慈光間	~15名程度	+10,000円

平成30年
9月1日
午後1時

おう おん こう
報恩講法要

おお たい や もん と ぶつ こ しゃ つい と う
大速夜法要 門徒物故者追悼法要
(平成30年度物故者)

「生死いづべき道」を明らかにして下さった親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ報恩講。お念仏を仰ぐことは、尊い仏さまになる人生が恵まれることを聞かせていただきました。



読経は真剣



追悼法要の導師は住職



法中の皆さま



雅楽は札幌雅友会の皆様



挨拶する住職



笑顔のステキな長倉伯博先生



法中間にて有田総代の挨拶



報恩講1日目

午後6時より
初夜法要

万灯会

今年度三回忌と七回忌を迎えられる方の法名が記載された
灯籠をともし、本堂いっばいに灯りが飾られて音楽法要が勤
まりました。心の闇を破る阿弥陀様の光に包まれ、私の心を
あたためて下さいます。



おときご紹介

婦人会清田地区担当

9月1日
 ごはん 味噌汁
 おひたし 煮しめ
 つけもの 鶏肉
 トマト サラダ
 なすの素揚げ

9月2日
 助六寿司
 つけもの そうめん
 豚サラダ おひたし
 おしるこ



報恩講2日目 午前7時半より おあさじ

お経の練習会「声明クラブ」の会員を中心におつとめしました。学びの成果が声となって響いてきました。



そしじゅ 祖師壽の集い (数え年90歳 昭和4年生まれ)

当時、驚くべきことに90歳まで生き抜かれた親鸞さま。祖師と同一年になられ、同じ仏の道を歩まれておられることに敬意を表し、住職より高橋穂積様へ寿詞が手渡されました。

今年度該当の皆さま

- 三上コマ様 流 愛子様 松本裕國様 大藤新三郎様 岡部絹子様 大藤テル様 渡邊ナミ様 鈴木光子様
- 黒氏哲夫様 小西和夫様 平野照子様 伊藤 良様 金巻智子様 高橋穂積様



司会の宮下総代

報恩講ご満座 9月2日午後11時より

ご満座を迎えて、お勤め下さったご法中、参詣者の方々、おみがき大掃除の準備からお手伝い下さいました皆様と共に、充実感いっぱい今年度報恩講を終えました。



梵鐘は越前屋総代



彦素総代による御礼言上



そうだお寺へいこう!!

第3回福住寺参拝スタンプラリー 2017~2018年



皆勤賞

- | | | | |
|------|----------|----------|----------|
| 全12回 | 藤本 禎子 様 | 越前屋 廣明 様 | 山本 笑美子 様 |
| | 廣田 ミサオ 様 | 藤本 徳美 様 | 大道 寿子 様 |
| 11回 | 藤本 昭雄 様 | 有田 時子 様 | 清水 秀男 様 |
| | 岩田 愛子 様 | 尾崎 恵美子 様 | 土池 三枝子 様 |
| | 竹下 セイ子 様 | 有田 恭子 様 | |
| 10回 | 阿部 竹子 様 | 古清水 淑悦 様 | |



精勤賞

- | | | | |
|----|-----------|---------|----------|
| 9回 | 高田 ヒサ子 様 | 武井 弘子 様 | |
| 8回 | 林 富美子 様 | 池田 良子 様 | 竹下 潔 様 |
| | 林 正 様 | 彦素 幸夫 様 | |
| 7回 | 久保坂 美智子 様 | 宮内 信子 様 | 鈴木 真知子 様 |
| 6回 | 杉森 順子 様 | 宮下 敬敏 様 | 磯野 収 様 |
| | 飛瀬 雅弘 様 | 岩田 敏宏 様 | |



令和元年
6月10日

親鸞さまの誕生をお祝い！！

親鸞聖人降誕会 6月10日は福住寺開教記念日です！

親鸞聖人は1173年5月21日に京都の日野の里にて御誕生されました。父親は藤原氏の流れをくむ日野有範、母は吉光女と伝わっています。9歳の時に出家・得度をされ僧侶となつてからは、90年の生涯をかけてお念仏の道を歩まれました。今、私達にお念仏のみ教えが届いているのも親鸞聖人がご誕生してくださったおかげであります。

福住寺では、毎年、開教記念日である6月10日に合わせて宗祖親鸞聖人降誕会が厳修されております。また、会堂ではお抹茶の接待も行われました。



導師 長尾光雲副住職



司会の磯野総代



布教使 谷川弘顕師

お抹茶接待



おときご紹介

月寒地区担当

- ごぼうご飯
- アスパラの肉巻き
- エビフライ
- ザンギ
- ホーレン草なめ茸合え
- キュウリ、じゃこ酢の物
- ソーメンのお吸い物
- つけもの



月寒地区おときの準備

しんもん と 新門徒の集い



6月10日午前11時より、新しく福住寺にご縁を結ぶ方々の法要「新門徒の集い」が行われました。門徒としての自覚を新たに、帰敬文ききょうもんの唱和、受式者代表の挨拶、お寺に携わる方々の紹介などをして、和やかな法要となりました。

今回は、新しく10家のご家族の皆様がご門徒として入門され、お念仏を喜ぶお仲間となりました。おめでとうございます。



司会の齋田総代



彦素総代長のご挨拶



皆さんで「帰敬文」の唱和代表の高橋さん



登録証下附 新門徒代表の若澤さん



新門徒代表挨拶 原谷さん



閉式後は皆さんとお齋をいただきました



コラム 木を磨いて

渡邊 昭さん

渡邊家を訪れると玄関、居間、仏間に至るまで、木材を丁寧に磨いた品々が処狭しと飾られて置かれている。ご主人の趣味で「毎日車庫に籠り、夏でも冬でも雨が降ろうが雪が降ろうがお構いなしに唯ひたすら木片を磨いている」という。現役中の仕事は自動車整備工場塗装の仕事をしており、いつも車を磨いていた渡邊さん。

きっかけをお尋ねすると、退社後たまたま福祉関係の施設でお手伝いをした時、木材をサンドペーパーで磨いたのがはじめだそうです。

コースターや鍋敷きは勿論のこと、写真たて、仏飯台、供物台など、数えてはいないが4~500個はあるという。自然の木の形をそのまま生かし、ただただ無心で磨く。「他の人からいいねと言われ、褒められるととても嬉しくなる」と満身の笑みで語ってくれました。

令和元年
6月9日

仏教婦人会報恩講

6月9日午後1時より婦人会報恩講が行われました。厳粛な中、清田地区の会員による献花献灯。親鸞聖人のお徳を讃える法要が勤まり、共に手を合わせ報恩感謝のお念仏を申させていただきました。



会員による献供



清田地区の皆様



司会の大道さん



仏教婦人会 90周年記念誌発刊!!

福住寺仏教婦人会『こぶしの花に心よせて』

令和元年6月10日、仏教婦人会創立九十周年の記念誌が完成し会員の皆さまに配布することができました。

平成14年に発刊された福住寺仏教婦人会創立七十五周年記念誌『ただ念仏して』に続いて2冊目の記念誌です。この記念誌は、三佐川令子編集委員長のもと9名の委員とともに平成30年7月26日から約1年間で製作されました。

昨年行われた90周年記念法要は、恵信尼さまの七五〇回忌法要も併催されました。そのことに因んでこの度の記念誌タイトルにも恵信尼さまにゆかりのある「こぶしの花」を付けることになりました。

90年にわたって育まれてきた仏縁に感謝し、仏教婦人会の更なる発展と、皆さまの仏法相続、お念仏の繁栄を願うばかりです。



コラム こぶしの花

こぶしの花は親鸞聖人の妻である恵信尼様にゆかりがある花でもあります。

早春に葉より先に白く花が咲き、芳しい香りを漂わせます。古くから春を告げる花木として親しまれています。和名「こぶし」という名前の由来は、「つぼみが子どもの握りこぶしに似ているため」とか、「秋に果実がデコボコのにぎりこぶし状のであるため」とかいわれます。

恵信尼様は晩年を越後板倉で暮らし、この地で87歳で往生されました。恵信尼様のお墓である五輪塔の

石が発見された時、その側には大きなコブシの大木がありました。

この五重の石塔について、恵心尼さまのお手紙に、
【原文】さて生きて候ふときと思ひ候ひて、五重に候ふ塔の、七尺に候ふ石の塔をあつらへて候へば、このほどは仕いだすべきよし申し候へば

【現代語訳】さて、生きている間にと申して、七尺の五重の石塔を造るよう頼んでいたところ、間もなくできあがると知らせがありました（『恵信尼消息』第8通）

令和元年
6月9日

初参式 赤ちゃんの初めてのお参り

6月9日午前11時より、本堂にて赤ちゃんの初参り第39回「初参式」が行われました。受式されたのは5家で、それぞれのご家族の皆様とともにお勤めいたしました。仏様の前での焼香、記念品のお念珠授与、婦人会の皆様にお手伝い頂き、色紙に手形をとるのは大騒ぎ。改めて、皆様と共に恵まれたいのちに感謝させていただきました。



こうたろう
山崎康太郎くん



ご家族揃ってお焼香



いずみ
森永泉水ちゃん



りくと
片平陸斗くん



ゆうこ
山崎結子ちゃん



あいこ
山崎愛子ちゃん

おときご紹介

福住地区担当



- お赤飯
- フキとカマボコ煮
- サケの切身
- マカロニサラダ
- だし巻き玉子
- おみそ汁
- 赤カブ、大根、
キュウリの酢の物
- ホーレン草のおひたし



美味しいお寺のおとき

平成30年 11月23日

えい たい きょう
秋季永代経法要
かいびやく
— 永代経開闢法要 —

平成30年度11月23日の秋永代経1日目に特別永代経懇志をご進納され、はじめてのお参りが勤まりました。本堂余間にて該当の施主のご家族にお焼香をいただきました。

その後は寶樹庵にてお抹茶とお齋の接待が行われました。

平成30年度 特別永代経懇志ご進納者ご芳名 (平成29年11月23日～平成30年11月23日)

雅楽楽器一式【太鼓・鉦鼓・鞆鼓】

大隅 正様
清水 伴子様
三上 洋正様
高田ヒサ子様
常世田久子様

藤澤 テル様
石森た江子様
有田 隆子様
山本 昭七様
濱本抄恵子様
石田小夜子様



濱本様



清水様



高田様



常世田様



藤澤様



三上様



石森様



石田様

平成31年
4月8日

えい たい きょう 春季永代経法要



福住寺では春と秋の2回、永代経法要が勤められています。先にご往生された大切な方々を偲びつつ、受け継がれてきた「いのち」の尊さを改めて感じ、永代にお念仏のみ教えが続いていくようにとお参りしております。

花まつり・灌仏会・なが〜い太巻きづくり

今から約2500年前インドのルンビニーでお釈迦様がご誕生されました。近年「花まつり」を開催していませんでしたが、昨年より永代経法要の前に午前11時よりお釈迦様のお誕生をお祝いする灌仏会が勤修されました。花御堂の周りをお勤めをあげながら、小さなお誕生仏に甘茶を灌ぎお祝いいたしました。



防災講習会 平成31年4月10日

去る4月10日、防災講習会が開催されました。全国各地で想定外の自然災害が頻発している中、昨年9月6日に胆振東部地震が発生いたしました。災害がいつどこで起こるか予測不可能であり繰り返し起こるかわかりません。そのような災害から被害を最小限に抑えるため、防災に関する意識向上を目的として、細川雅彦防災・危機管理専門官をお招きして講習会が開催されました。「いざ」という時に少しでも防災の対応できるノウハウを学ばせていただきました。



彼岸会

平成30年
9月21日 秋季

平成31年
3月21日 春季

彼岸とは仏さまの国であるお浄土を表し、私たちの住む「此岸」から、西方にあるとされる阿弥陀さまのお浄土「彼岸」へ到るお念仏の道に感謝を表する法要です。太陽が真西に沈む春分の日・秋分の日、いのち終え西方極楽浄土に往生する様になぞらえた日本特有の仏事です。

福住寺では、秋季・春季ともに2日間の法座が営まれます。今年は、平成30年9月23～24日に秋季彼岸会、平成31年3月21～22日に春季彼岸会が厳修されました。ご法話は春秋ともに福住寺の僧侶が1席ずつお取次ぎをいたしました。

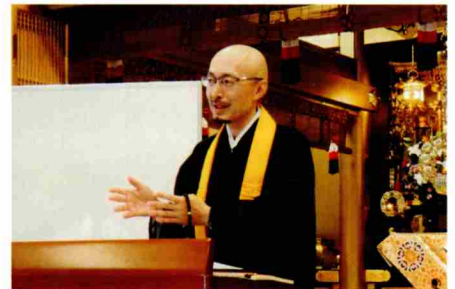
また、春季彼岸会の際には、札幌組報恩講参拝スタンプラリーの表彰式が行われ、3名の方が表彰されました。



▶札幌組報恩講参拝スタンプラリーの表彰者

5ヶ寺達成

- 長尾ふみ子様
- 尾崎恵美子様
- 土池三枝子様



納骨堂総参拝法要 (春季彼岸会)

今年より新たな法要として、彼岸会に際しての納骨堂総参拝法要を修行いたしました。通常、お彼岸の間中は納骨堂での読経が行われていますが、それとは別に納骨段をお持ちの方みなさんと一緒にお参りをする法要です。装束を整えた4名の僧侶が読経する中、2列になって尊前に進みお焼香礼拝をして亡き人を偲びました。



新入学の集い (春季彼岸会)

福住寺では、春季彼岸会に合わせて新たに小学校へ入学されるお子さまのお祝い「新入学の集い」を行なっています。今年は國田ほのかちゃんのお祝いを皆様と共に仏前にご報告させていただきました。



▲ お母さんと共にお焼香をします



▲ 住職より記念品をいただきます

春季彼岸会特別イベント お寺で笑おう!! 「おてらくご」



平成31年3月22日、彼岸会の法要終了後に桂三段さんをお招きし落語会を開催いたしました。三段さんは、桂文枝さんのお弟子さんであり、上方落語会では唯一の北海道出身者です。この度のイベントは、お寺のご門徒のほか一般の方にも来場していただき100名弱の方々と共に楽しませていただきました。お寺は葬儀や法事のイメージで落語とは関係ないと思うでしょうが、実は落語はお寺で行われるご法話がルーツなのです。みなさんで声を出して大笑い楽しいイベントとなりました。



▲ 桂三段さん



▲ イベントチラシ



福住寺仏教壮年会 研修会 「仏事のイロハ」

平成30年12月2日、福住寺仏教壮年会による初めての研修会「仏事のイロハ」が開催されました。

今回の研修会は第1回目でしたので参加の人数が心配されましたが、壮年会の会員のほか、会員以外の方にもご参加いただき合計42名でした。研修内容は前半に副住職による仏事作法やお経の練習、後半は岩淵法務員による法事や葬儀についてを学びました。

研修会終了後には、壮年会の忘年会が催され、お寺の隣にある焼肉店で懇親を深めました。



▲『讃仏偈』調声人は宮下敬敏会長



▲研修会前半講師は副住職



▲研修会後半講師は岩淵法務員



札幌組仏教壮年会連盟 総会・結成祝賀会



平成31年2月23日、ホテルポールスター札幌にて札幌組仏教壮年会連盟総会、結成祝賀会に出席しました。

お寺の団体うち、仏教婦人会が“女性会”と言うならば、“男性会”に当たるのが仏教壮年会です。近年、各お寺では次々に壮年会が設立され、福住寺も一昨年に壮年会を設立して活動しています。この度は、札幌組における壮年会の連盟組織が結成したのです。福住寺からは壮年会役職ら11名が参加しました。当日は総会・記念講演・結成祝賀会が行われ、お祝いの雰囲気の中、賑々しい1日となりました。

北海道教区札幌組 結成祝賀会
仏教壮年会連盟



▲ 福住寺からの出席者

平成30年
1月31日

婦人会総会・新年会

平成31年度福住寺仏教婦人会総会が42名の出席のもと開催されました。本堂でお勤めして、新しく変わった仏教婦人会綱領を唱和した後、山本会長・住職のご挨拶をいただきました。

山本会長より、昨年6月9日に開催された婦人会創立90周年・恵信尼公750回忌法要を無事修行された事への感謝の言葉を述べられました。

大道寿子議長のもと、平成30年度事業決算、会計監査報告、また、平成31年度事業計画と予算案が審議され原案どうり承認されました。

さらに、三佐川令子記念誌編集委員長は、記念誌を6月をめどに作成している最中である事を話されました。

総会後には、西岡地区の当番で甘酒とお弁当が準備され、ゲームで大いに盛り上がり楽しい一時を過ごしました。



挨拶 山本笑美子会長



大道寿子議長



司会 三佐川令子副会長



令和元年
7月14日

公開仏教講演会 —本願寺派勧学・浅田惠真 師—

7月14日午後1時より、「比叡山時代の親鸞聖人～命あらん限りは～」という講題で、公開仏教講演会が開催されました。どなたでも参加できる一般公開制の講演会であり、仏教の教えに興味がある方や、「いのち」や人生についてあらためて考えたい方、歴史に興味がある方などたくさんの方がご来場くださいました。

ご講師には、本願寺派勧学であり、比叡山・天台教学の研究に長年取り組み全国で活躍されている浅田惠真先生にお越しいただきました。親鸞聖人は多くの書物を残していただきましたが、若き頃の比叡山における修行や生活のことはあまり多く語られておりません。この度の仏教講演会では、比叡山時代の親鸞聖人について学ばせていただき、また、その当時の親鸞聖人のお姿を通して私達自身に向き合う機会とさせていただくことができました。そして会場横の特設ブースでは、休憩時間にふるまわれたスイーツビュッフェや、恒例となりました福住寺仏教婦人会によるバザーも大盛況でした。

講演についてのアンケートには、感謝の言葉と、反響の声が数多くつづられておりました。



わかりやすい映像での説明



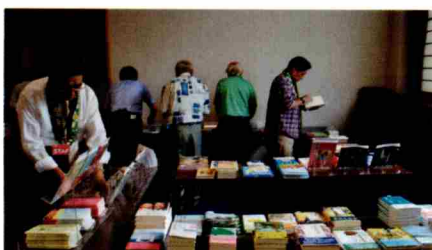
ご講師の浅田先生と



満席の会場



美味しいスイーツに舌鼓



熱心に書籍選び



バザーの様子

今回のバザーにおける収益金は、全額、胆振東部地震の義援金に寄付させていただきました。たくさんの野菜や手作りの品物をご協力くださった皆様や、お買い上げくださった皆様に心よりお礼申し上げます。



新鮮なお野菜も完売でした



手作りとは思えない商品の数々



バザーも大盛況

平成30年
12月31日
午後11時

じょやえ
除夜会

平成31年
1月1日
午前10時

がんとんえ
元旦会



毎年、年末の恒例となつてあります「STVラジオ日高五郎ショー千客万来」の取材がまたまたやってきました。年々磨きがかかってきた、司会のようにへいさんと住職との、まるで漫才コンビのような掛け合いトークで笑いを誘う取材が生放送されました。除夜会では皆さんに鐘をついていただき、年を締めくくるお勤めの後、新たな年に成人を迎えられる方々を阿弥陀様の御前にてお祝いする「真夜中の成人式」がおこなわれ、記念品がおくられました。お楽しみ抽選会では、景品当選された皆さまの笑顔が、おおいにもりあがりました。

元旦の10時から、初詣はやっぱりお寺でお念仏。一年の始まりを皆さんでお勤めをし、新年早々の抽選会を楽しみました。



満員御礼の本堂



「ゴオン、ご恩」と除夜の鐘



真夜中の成人式、おめでとうございます



絶妙なようへいさんと住職のかけあい



毎年恒例、日高五郎ショー



新年のお勤めを皆さんと一緒に



お楽しみの景品



元旦にお参りした皆さまと



念仏申さるべし

令和元年
7月10日

婦人会誕生会 岩淵農場とニセコの旅

令和元年7月10日70歳、77歳、88歳をお祝いする日帰り誕生会が38名参加のもと開催されました。

この度は、当寺法務員の岩淵さんのご実家の岩内郡共和町の岩淵農場を訪ねました。ハウスでらいでんスイカ・メロンと稲作づくりの農家です。農場や施設を視察して、甘いスイカをご馳走になり、また、農場の成り立ちなどを第4代目の岩淵励治様よりお話いただきました。

その後、ニセコノーザンリゾートアンヌプリホテルにて昼食と誕生会。別腹といって最後の誕生ケーキまでいただきました。第2有島牧場(ダチョウ牧場)では、今生んだばかりの温かなダチョウの卵に触れたり、お待ちかねの道の駅で買い物をしました。お念仏に生かされる仲間との旅路はいいものですねー。



岩淵農場の皆さま



平成30年
10月15日

札幌別院報恩講参拝&ディナー

平成30年10月15日、本願寺札幌別院での報恩講法要に22名で参拝致しました。この参拝は、もとは婦人会の恒例行事ではありましたが、今年より仏教壮年会も合同にと、所属問わず共にお参りができました。

午前の日中法要（宗祖讃仰作法）には、福住寺「アミーダ」の合唱隊が12名参加しました。午後の大速夜法要と法話を聴聞したのちは、「イタリアン ルッチ」にてディナーを楽しみました。身も心も満たされた1日になりました。



お知らせ

今年の札幌別院報恩講は、法名をいただく儀式「帰敬式（おかみそり）」が行われます。

本年（令和元年）の札幌別院の報恩講法要では、10月13日には本願寺ご門主による「帰敬式（おかみそり）」が行われます。本来、帰敬式は京都の西本願寺でいただくものですが、数年に一度だけ全国の別院や寺院でも行われます。まだ法名をいただけていない方は、ぜひこの機会を逃さぬようお申し込みください。

▶帰敬式（おかみそり）とは、生前に法名（釈〇〇）というお名前をいただく儀式です。事前にお申し込みが必要となりますので、希望される方は、お寺までお問い合わせください。

申込み期日：2019年9月7日まで

福住寺 電話011-851-8654

第30回 温泉説法のつどい

平成31年2月19～20日、定山溪温泉ホテルミリオーネにて「第30回温泉説法のつどい」が開催されました。この大会は全道の45歳までの若手僧侶らによる企画で、仏教のみ教えを聞きながら温泉を楽しむ大会です。今年の大会は、芸人ゴルゴ松本さんによる記念講演とお坊さんらの漫才説法や朗読説法などが行われました。副住職も大会の法要部長として活躍していました。また宴会はお坊さんたちのモノマネカラオケで大いに盛り上がりました。



しょうみょう 「声明クラブ」 毎月1回第4土曜日 午後1時半から3時半まで

第10期声明クラブが閉講しました。今年で10年間催されたお経の練習会ですが、なんと10年連続で受講された方が10人もいました。素晴らしい努力ですね！ 仏事は難しく感じることが多いですが、皆さんと一緒に学ぶことで楽しんで学ぶことができます。来年も引き続き第11期を開講予定です。どうぞお気軽にご参加ください。



10年表彰

- | | |
|--------|---------|
| 阿部竹子様 | 岩田愛子様 |
| 大道寿子様 | 久保坂美智子様 |
| 古清水淑悦様 | 武井弘子様 |
| 竹下セイ子様 | 林 八重子様 |
| 廣田ミサオ様 | 山田千恵子様 |

第10期 皆勤賞

- | | |
|--------|--------|
| 阿部竹子様 | 有田時子様 |
| 越前屋廣明様 | 尾崎恵美子様 |
| 武井弘子様 | 土池三枝子様 |
| 廣田ミサオ様 | 藤本昭雄様 |
| 藤本禎子様 | 本田洋子様 |

第10期 精勤賞

- | | |
|-------|---------|
| 有田恭子様 | 岩田愛子様 |
| 大道寿子様 | 久保坂美智子様 |
| 桑島則夫様 | 古清水淑悦様 |
| 清水秀男様 | 竹下セイ子様 |
| 宮内信子様 | 山田千恵子様 |



写経教室「ストトラ」 毎月1回第2土曜日 午後1時半から3時半まで

令和元年6月15日の最終教室をもって第7期写経教室ストトラが閉講いたしました。今期では『重誓偈』の写経を行い、1年間をかけてオリジナルのお経本を完成することができました。慌ただしい日々の中で心静かに筆を運び、自分だけのお経本を作ることには何とも言えない充実感があります。

第8期写経教室ストトラは、令和元年10月12日より開講します。内容は『正信偈』の写経を予定しておりますので、興味のある方は見学からでも是非ご参加ください。



オリジナルのお経本を完成された藤本さん

歌声喫茶「アミーダ」は今年で10年を迎えました！



平成22年の4月より、庫裡の1階でスイングサロン「アミーダ」を開設しました。今年で10年目です。懐かしい歌を合唱してピアノ伴奏の石黒真知子先生と歌が大好きな方々でミニコンサートも開かれます。皆様も是非、お顔を出してみたいはかがでしょうか？！

毎月1回第3火曜日
午後2時から3時半まで

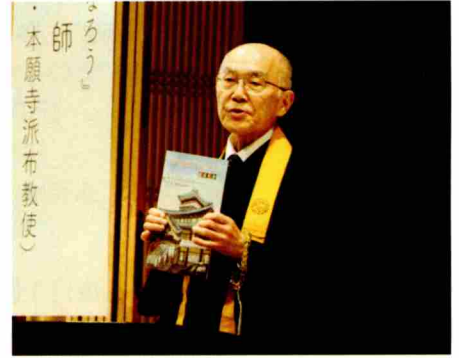
北海道教区門徒総代会全道大会 前門様ご来道

令和元年6月20日、北海道教区門徒総代会全道大会が道内寺院の僧侶・総代437名が参加のもと開催されました。札幌別院にて北海道教区全寺院の総代会の総会、続いて布教使の天岸浄圓先生による研修会が行われました。

また、今大会には本願寺の先代の住職（前門様）の大谷光真様をご出向されていましたが、前門様はこのようにご挨拶をされました。

【仏教は頭で理解するものではありません。あるいは、一度聞いたからといって満足してしまうものでもありません。例えば、素晴らしい絵画や音楽は何回も見たり聞いたりします。たった一度、頭で理解したからもう見ない・聞かないなんて人はいないと思います。絵画や音楽は、その都度で感じ方が変わります。仏教も同じように、いつ聞いても新たな自分に出会えるのです。】と。

前門様が語られたように、仏教のみ教えは、聞けば聞くほど触れば触れるほど新たな“見かた”や“自分”を教えてください。これからもお念仏の道を共に歩んでいきましょう。



布教使の天岸浄圓師

コラム 心を育て

福住寺門徒・タマゴマンの作者 坂本 勤さんを訪ねて

38年間中学校の国語の教師として勤めていた坂本さん。在職中に発行していた学年だよりに掲載したキャラクター「タマゴマン」がきっかけとなり本『タマゴマンは中学生』等自主出版を含め計11冊の本を出版されています。

あたたかくやわらかな絵と詩は、等身大の子どもの視線で語られており、大勢の人の心を魅了しました。

現在は、「優しさは何か、考えるとはなにか」「子供の心を守る」等の講演活動や北海道新聞の夕刊コラムにエッセイを執筆されています。また、毎年「風の詩画展」を奥さん娘さんと開催し、今年で23回目。2019年よりは、札幌市内中学校全校の1・2・3年生の道徳の教科書『新しい道徳』に掲載されることになりました。坂本さんの様々な視点から豊かに考えることの大切さは、子ども達はもとより、ますます多くの人々に伝わっていくでしょう。



今後の主な法要・行事日程ご案内

●令和元年度

秋	9月	1・2日	宗祖親鸞聖人報恩講法要	親鸞聖人のご命日にあたり、ご遺徳を偲ばさせていただき感謝の法要です
			祖師壽の集い	親鸞聖人（祖師）と同じ年90歳の方を仏前で祝いさせていただきます
		23・24日	秋彼岸会	真西に日が沈む秋分に、西方極楽浄土を想い仏徳に感謝させていただきます
	11月	23日	永代経開闢法要	当年、特別永代経懇志を進納された方が初めての法要です
		23～25日	秋季永代経法要	亡き方を縁に仏縁に感謝し、永代にお念仏が勤まることを願う法要です
冬	12月	31日	除夜会	大晦日の夜、1年を振り返り、しめくくりとしてお勤めさせていただきます
			真夜中の成人式	新たな年に成人される方をお祝いさせていただきます

●令和2年

	1月	1日	元旦会	1年の始まりに、お念仏相続を改めてかくにんさせていただきます法要です
		16日	御正忌	宗祖親鸞聖人の祥月命日のお参りです
春	3月	20日	新入学の集い	仏さま尊前で、小学校に入学されるお子さんをお祝いいたします
		20・21日	春季彼岸会	真西に日が沈む春分に、西方極楽浄土を想い仏徳に感謝させていただきます
	4月	8日午前	花まつり	お釈迦さまの誕生をお祝いする法要です
		8～10日	春季永代経法要	亡き方を縁に仏縁に感謝し、永代にお念仏が勤まることを願う法要です
夏	6月	9日	初参式	新たないのちの誕生を仏さまの尊前にてお祝いさせていただきます
			仏教婦人会報恩講法要	仏教婦人会主催のもと、親鸞聖人のご遺徳を偲ばさせていただき法要です
		10日	新門徒の集い	お念仏のみ教えにであい、これから共に歩む福住寺門徒の入門式です
			宗祖降誕会	親鸞聖人のご誕生をよろこび、お祝いと感謝させていただきます法要です
	7月	毎週金曜日	朝のお参り「朝活」	心地の良い朝、お寺でお参りをし、仏様のお話をいただきます
		中旬	公開仏教講演会	著名なご講師を招き、わかり易いテーマで、どなたでも参加できる講演会です
	8月	13～16日	盂蘭盆会	納骨堂にてお勤めさせていただきます
	16日	初盆会	初盆の方々が故人を偲び無常を感じつつ、仏恩に感謝させていただきます	
			永代廟納骨法要	福住寺永代廟にて納骨の法要がとまります

毎月の行事

お経練習会「声明クラブ」毎月1回第4土曜日・午後1時半から3時半まで 第11期は9月28日より開講
 写経教室「ストウ」毎月1回第2土曜日・午後1時半から3時半まで 第8期は10月12日より開講
 雅楽練習会「雅讃クラブ」毎月1回第1土曜日・午後3時半から5時半まで
 歌声喫茶「アミーダ」毎月1回第3火曜日・午後2時から3時半まで

編集後記

「人生、七転び八起きだよ」と言われても、1000回転んでも足りないぐらいの私。正直たまには肩の荷を下ろして、ほっとしたいものです。「実りある人生に」とは誰もが願うことですが、思うようにならないのもこれまた人生。なかなか結果が出せないと「これが私の運命だ」「私なんか、どうせダメ」とアキラメてしまうことも少なくありません。でも、お釈迦様は「アキラメル必要はない。未来は、いくらでも変わるのです。物事の道理をアキラカニミルことさえすれば、反省すべきポイントをつかみ、改善進歩し、すがすがしい道が必ず開かれるのですよ」と教えられています。どうでしょう？人生、目の前は長く険しい道のりだとしても、振り返れば苦労した分だけ、ほんの少し自信がついたような気がしてきませんか。(R・A)

無料法律相談

日時 令和元年8月14日(水)
午前10時～午後5時まで

場所 福住寺

担当弁護士 中田 裕規
(第一東京弁護士会所属)

TEL 03-3592-1661
(永田町法律事務所)

相談時間は1人30分～1時間
ご予約は、上記連絡先をお願いいたします。

